

かんら

# 議会だより

群馬県甘楽町議会  
令和2年10月15日

183号



新屋小学校稲刈り

※表紙の説明は10頁をご覧ください。



インターネットからも  
閲覧できます!



## 令和2年9月定例会

第3回定例会……………	2～3	全員協議会報告……………	9
5人の議員が一般質問……………	4～7	かんらの四季を彩る風景、	
議会活動報告……………	8	編集後記……………	10

# 令和2年9月 甘楽町議会 第3回定例会

第3回定例会を9月7日(月)～14日(月)までの会期で開催しました。  
町長から提出された同意1件、議案15件について審議・採決した結果、すべて  
原案のとおり可決しました。  
最終日14日には、議員発議による条例の制定1件と意見書提出1件を承認し、  
5名の議員が7問の一般質問を行い、閉会しました。

## 町長提出議案

### ◆同意 1件

- 甘楽町副町長の選任 1名  
森平 仁志 氏(天引)

### ◆令和元年度決算認定 7件

- 一般会計歳入歳出決算
- 国民健康保険事業
- 特別会計歳入歳出決算
- 介護保険事業
- 特別会計歳入歳出決算
- 農業集落排水事業
- 特別会計歳入歳出決算
- 公共下水道事業
- 特別会計歳入歳出決算
- 後期高齢者医療
- 特別会計歳入歳出決算
- 水道事業会計歳入歳出決算

### ◆条例の一部改正 4件

- 手数料条例
- 研修施設等の設置及び管理に関する条例
- 税条例
- 国民健康保険条例

### ◆令和2年度補正予算 4件

- 一般会計(第4号)
- 国民健康保険事業
- 特別会計(第1号)
- 介護保険事業
- 特別会計(第1号)
- 水道事業会計(第2号)

## 議員発議 2件

- 甘楽町議会の議決すべき事件に関する条例
- 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書



## 第2回臨時会

7月20日

### 町長提出議案

#### ◆条例の制定 1件

- 甘楽町長、副町長及び教育長の給与の支給の特例に関する条例

#### ◆工事請負契約の締結 2件

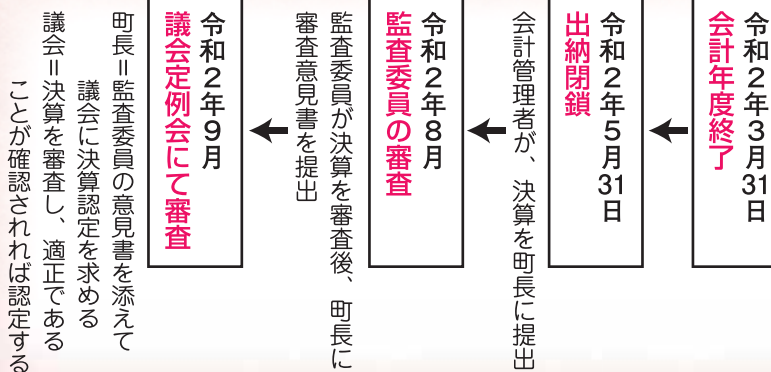
- 甘楽町防災行政無線デジタル化整備工事
- 白倉第一浄水場改修工事



## 決算認定とは?

1年間(4月1日～3月31日)に町に入ったお金(収入・歳入)や町が使ったお金(支出・歳出)について、議会がその内容を審査し、収入・支出が適法かつ正当に行われたことが確認されれば「認定」となります。

### 決算認定までの流れ



## 認定された令和元年度決算の状況

(単位：万円)

会計別	歳入総額		歳出総額		歳入歳出差引額 (令和元年度)		
	令和元年度	平成30年度	令和元年度	平成30年度			
一般会計	54億2,551	51億7,567	51億7,192	49億4,510	2億5,359		
国民健康保険事業特別会計	15億9,146	15億9,392	14億9,853	15億642	9,293		
介護保険事業特別会計	12億4,947	11億5,291	12億3,854	11億3,382	1,093		
農業集落排水事業特別会計	1億4,117	1億6,894	1億4,062	1億6,844	55		
公共下水道事業特別会計	5億657	4億8,819	5億591	4億8,769	66		
後期高齢者医療特別会計	1億4,365	1億4,008	1億4,150	1億3,998	215		
水道事業会計			収 入		支 出		
			令和元年度	平成30年度	令和元年度	平成30年度	
	収益的収支		2億6,307	2億4,746	2億3,525	2億2,315	
		資本的収支		177	246	1億5,901	1億2,259

※資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は、過年度分損益勘定留保資金・当年度分損益勘定留保資金並びに当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額で補てんされました。

## 議員の賛否がわかれた審議議案

議案名	議員名													議決結果
	山田光男	堀口博	白石豊樹	吉田恭介	横尾稔	相川忠夫	金田倍視	黒澤篤	中野喜久勇	富岡朝男	山崎澄子	山田邦彦		
議案第53号 令和元年度一般会計 歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	×	可
議案第54号 令和元年度国民健康保険事業 特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	×	可
議案第55号 令和元年度介護保険事業 特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	×	可
議案第58号 令和元年度後期高齢者医療 特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	×	可

※「○」は賛成。「×」は反対。議長は通常採決に加わらないため「—」で表示。

※上記以外の議案については、すべて全会一致で承認されました。



ここが聞きたい!  
町政を問う

# 「一般質問」

「一般質問」とは、議員が、町長をはじめとする執行機関に対して行う質問のことで、内容は行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針などについて所信や疑問をただしたり、あるいは報告や説明を求めたりします。内容を要約して通告順（発言順）に掲載します。

## 5人の議員が発言

### ①金井北住宅団地について

金田 倍視 議員

### ②学校活性化事業の委託について

白石 豊樹 議員

### ③地方創生応援税制について

横尾 稔 議員

### ④学校で「コロナ禍」を乗り越えるために

山田 邦彦 議員

### ⑤ランドセルの中身の軽量化を

山田 邦彦 議員

### ⑥学校の給食費を無料に 等

山田 邦彦 議員

### ⑦テレワーク向け移住促進について

吉田 恭介 議員



## 金井北住宅団地について

金田 倍視 議員

**■議員** 当住宅団地については、北（バイパス側）からの出入口で白倉川沿いの一画が平成30年3月の造成事業説明では公園・緑地でしたが、平成30年10月の設計図では面積は狭くなり公園の文字はなくなり緑地のみ記載です。当区画の現状は小石が敷詰められています。

当団地では以前より公園なり広場の要望が多くあります。

当団地内もしくは周辺での、公園なり広場の考えをお聞かせください。

**■町長** 金井北住宅団地は甘楽郡土地開発公社甘楽町支所で造成・分譲したもので、町の付託により事業を実施しています。

住宅団地内の公園・広場の整備については、設置する遊具などの施設について業者に見積もりを依頼するなど事務を進めているところですが、計画図の中で緑地の面積が減少したことに、ついては、開発許可を受けるための緑地率を確保したう

えで、区画割により分譲面積を増やしたためです。

住宅団地内の公園整備は、子育て世代に対する環境の向上施策にもつながることから、今後も推進していきたいと考えています。







## 学校活性化事業の委託について

白石 豊樹 議員

■議員 学校運営費は、前年度においての綿密な計画を基に新年度に配分されており、使用目的以外に支出することとはできません。

昨今の変化の激しい情勢に対応し、小中学校の教育を活性化するために、富岡市では各学校に「学校活性化事業を委託する」特別予算措置を行っています。教育活動に必要な経費、授業の創意工夫、特色ある教育、その他教育環境の改善にかかわる経費で、これにより、それぞれの学校における、より実態に即した教育、より迅速な対応が可能となっています。甘楽町でも同様の処置をしてはどうか、うかがいます。

■教育長 町では各学校で持っている予算に富岡市の学校が特別予算で充てている講師謝礼金や消耗品費が計上されています。また、教育委員会で持っている予算でも学校長からの要望に対応できる予算組みとなっています。今後も各学校と綿密に連携し、教育委員会ですべて持っている予算と各小中学校で持っている予算において、児童・生徒への指導等を迅速に対応します。また、学校やPTAの要望を取り入れた予算編成に努めます。今回のコロナ対策のように大きな事業が発生した場合には補正予算などで迅速な対応を行いたいと考えています。



## 地方創生応援税制について

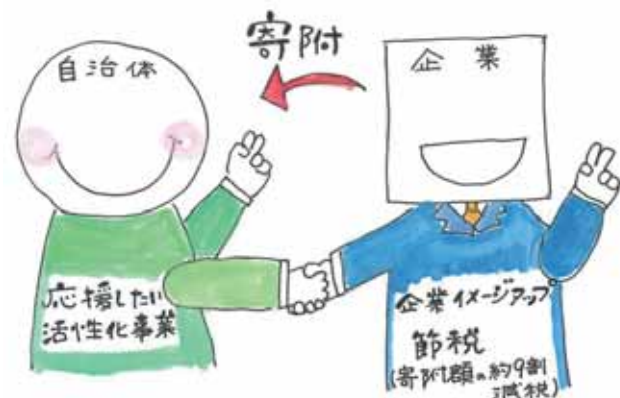
横尾 稔 議員

■議員 企業版ふるさと納税は地域活性化に向けた自治体の取り組みに対し企業が寄付をする制度です。

企業は、町が国に申請し認定を受けた事業に対して寄付をすると（4月の税制改正により）最大約9割に相当する税額控除が受けられるメリットがあります。

国の交付金や補助金とも併用可能となり、範囲も拡大するなど、町にとっても運営資金確保につながると考えられます。税金収入を打ち出している制度で、都市部から地方に新しい人とお金の流れを生むこの制度、町における現状をお尋ねします。

■町長 町では、甘楽町多世代サポートセンター（ここに甘楽）整備・運営事業で2つの企業より企業版ふるさと納税をしていただきました。現在はこの寄付の受け入れをできる事業はありません。現在策定中の第2期甘楽町まち・ひと・しごと創生総合戦略では企業版ふるさと納税の活用を明文化しています。この戦略ができましたら国へ地方再生計画の認定申請をし、この制度を活用しながら、今後も財源確保





## 学校で「コロナ禍」を 乗り越えるために

山田 邦彦 議員

■議員 「コロナ」対策は、特に、三か月「自宅待機」を強いられた子ども達への援助は今やるべき重要なことと思います。特別な心のケア。学習援助などなど。

①全職員、児童、生徒に「(PCR、抗体、抗原)検査」を実施して、安心して過ごせる空間の確保をする。

②毎日の消毒や検温、給食(配膳やお代わり)の援助などは、臨時職員などを募り、教員がしなくてもいい状況を作り、「過重負担」に配慮をする。

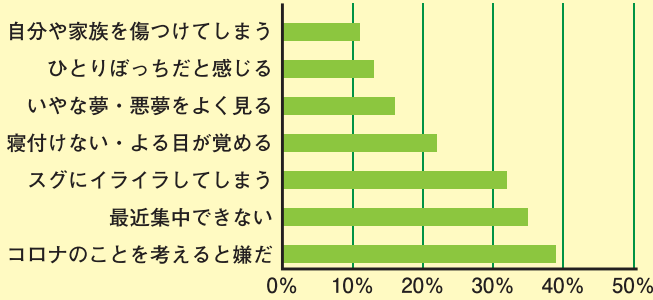
③スクールカウンセラー、心の教育相談員を増員し相談活動を充実する。(相談日の増と、相談に訪れる人だけでなく、全員の相談に乗る。)べきと思いますがどうか。

■教育長 ①現段階では効果・費用などの面から、PCR・抗体・抗原検査を実施する予定はありません。今後の状況を見ながら必要に応じて実施の有無を検討していきます。

②各小中学校に2学期から学習指導員を1名配置し、教職員の負担軽減を行っています。

③心の教育相談員の活用に加え、スクールカウンセラーについては必要な日数の来校を県に要望します。相談体制の充実を

### 子どもの心への影響は？



国立研究開発法人 国立成育医療研究センター  
コロナ×こどもアンケートより

## ランドセルの中身の軽量化を

山田 邦彦 議員

■議員 重いランドセルを背負い続けた場合、体への負担が心配です。バッグの重さと椎間板が圧迫され隙間が狭くなる程度は比例すること。前傾してバランスを取ろうとするため猫背気味になることが指摘されています。

また、重さが8キロを超えるると、半数の子どもが背骨が、片側に10度以上傾いていることもわかりました。子どもたちの健康を守るために、

①ランドセルの中身の重さ調査をしてはどうか。  
②リュックなどを使い、負担を抑える。  
③家で使わない教科書等は学校に置いていくなど、してはどうか。

■教育長 ①調査の結果、1年生3.0kg、2年生3.7kg、3年生3.6kg、4年生4.0kg、5年生4.2kg、6年生4.0kgでした。個人差がありますが、どの学年でも体重の20%以内です。  
②最近のランドセルは体に合った背負い方ができるよう調整機能が付いており、軽量化もされています。転倒などから児童の身体を守る役割も果たしています。今後現状どおりの運用を行います。



## 学校の給食費を無料に 等

山田 邦彦 議員

■議員 「子どもは町の宝」です。大人全員で宝物を守り育てる必要があり。憲法第二六条には、『義務教育は、これを無償とする。』と、ユネスコの「勧告第三号」は、「学校給食の運営費は中央あるいは地方行政当局の負担とする」と規定しています。

①食事は生きる基本であり、知育や徳育、体育の基本となります。子ども達が『食育』を身近に体験・学習できるのが学校給食です。無料化を進めるべきと考えますがどうか。

②教育の一環として使っているものの個人負担になっているものはいくらか。(学年別に)

■教育長 ①給食費を学用品購入費や修学旅行費など教育の一環として使っている物の個人負担相当額の支給を行っています。

②1年生3万6千円、2年生2万1千円、3年生1万8千円、4年生2万円、5年生2万5千円、6年生4万円(年間)。

町では、経済的な理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に就学援助奨励金として給食費全額、入学準備金、



## テレワーク向け移住促進について

吉田 恭介 議員

■議員 新型コロナウイルス感染症も世界的な流行に伴い、従来の働き方が見直されつつあります。コロナ禍で一気に増加したテレワーカー(会社以外の場所)で遠隔業務を行う人はパソコンとインターネット環境さえあれば仕事ができ、都心部に社屋を構えていた企業はその機能を縮小する方向転換が見込まれます。これを好機に町への移住・定住促進のひとつの策として活かしたいと考えます。

■町長 ①移住促進事業として、東京23区在住の勤者が甘楽町に住所を移し、県内の中小企業へ就職または起業した人への補助金として100万円を予算計上しています。また、個人が甘楽町に住宅を新築または購入した場合、取得した住宅の固定資産税相当額を翌年度に応援金として交付するまちづくり定住応援金事業があります。

②現在、空き家バンクの登録は10件程度です。家財が残っていたり、相続に問題が

①テレワーカー向けに移住促進補助金などを予算化できますか。

②空き家や空き施設を無料または格安で仕事場として提供できますか。

ある等、すぐに賃貸に結びつかないのが現状です。賃貸料等は所有者との交渉になるため無料は難しいと思いますが、都心に比べれば格安な金額ではあると思います。



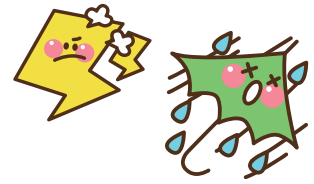
▲パソコンのオンライン会議画面



## 台風19号災害現場の復旧状況は？

### 町内現地視察を実施

9月9日



台風19号（令和元年10月12日襲来）により特に大きな被害があった場所を視察し、復旧の進捗状況を確認しました。復旧が完了した場所もありましたが、着手されていない場所も多く見られました。



法面が崩落した白倉川（白倉平石地区）



河川の法面が崩落した富岡神流線・戦場地区（秋畑）



添架された配水管が流された裏門橋（小幡）



土砂崩れにより路面が崩壊した富岡神流線・上来波付近（秋畑）

## 長岡今朝吉記念ギャラリー絵画解説会

7月21日

画家・版画家の酒井重良氏を講師にお招きし、長岡今朝吉名誉町民から寄贈された数々の名画について絵画技法や画家の紹介など幅広く解説していただきました。



7月

- 16日 社会教育委員会
- 17日 青少年問題協議会
- 生涯学習推進協議会
- 20日 第2回臨時会
- 議員協議会
- 20日 全員協議会
- 21日 長岡ギャラリー絵画解説会
- 22日 キラッとかなら安心のまち創生会議
- 28日 産業文化祭運営委員会

8月

- 3日 富岡甘楽非核平和要請
- 4日 教育委員会事務点検・評価報告
- 県町村議会議長会臨時総会
- 5日 介護保険運営協議会
- 12日 廃棄物減量等推進審議会
- 17日 キラッとかなら安心のまち創生会議
- 20日 議員協議会
- 28日 全員協議会
- 28日 県後期高齢者医療広域連合議会
- 31日 議会運営委員会
- 議会広報常任委員会

9月

- 7～14日 第3回定例会
- 17日 土地開発公社評議委員会
- 25日 議会広報常任委員会
- 30日 富岡甘楽地域医療企業団議会定例会

10月

- 7日 介護保険運営協議会
- 13日 廃棄物減量等推進審議会
- 14日 県道路協会富岡支部通常総会

次回の定例会は12月です（予定）

12月7日（月）～14日（月）＜一般質問は14日（月）の予定です＞

本会議の会議録は、町ホームページの「甘楽町議会」でご覧になれます  
<http://www.town.kanra.lg.jp>

議会を傍聴  
しませんか？

9月定例会の傍聴者は10人でした。  
傍聴について、詳しくは議会事務局までお問合せください。  
☎74-3131 内線310

ご協力をお願いいたします

傍聴の際は、新型コロナウイルス感染症対策のため、マスクの着用と距離を保っての着席をお願いいたします。また、発熱や風邪症状のある方の傍聴はご遠慮いただいております。定員は15名とさせていただきますので御了承ください。



- 毎月開催
- ・小口審査会
  - ・町例月出納検査
  - ・広域圏例月出納検査

※新型コロナウイルス感染症防止対策のため、会議・行事等は中止・延期されたものもあります。

全員協議会報告

議員協議会

○令和2年第2回臨時会について 他12件

全員協議会

○第2回臨時会提出議案等の説明及び質疑 他15件

議員協議会

○小口融資審査委員会報告 他8件

全員協議会

- 新型コロナウイルス感染症対策について 他15件
- 議員質問事項  
『COVID-19感染症による町民の雇用への影響について』
- 『昨年の19号台風による、町の河川災害の復旧状況について』

議員協議会

○甘楽町議会の議決すべき事件に関する条例について 他8件

全員協議会

- 新型コロナウイルス感染症対策について 他13件
- 議員質問事項  
『避難所でのペットの処遇について』

7月20日（月）

8月20日（木）

9月14日（月）

議会を傍聴して

70代・女性

傍聴は2度目の参加になります。時間的には少し長く感じました。このコロナ禍の中で甘楽町の飲食店、マーケット、工場などいぶ損失が生じている事が良く理解できました。質疑の中に学校教育や行事に関していろいろの内容の質問等がありました。真剣に議論がかわされました。私個人が参加してみました、町の内容が具体的に見えってきました。これからも機会がありましたら参加して、町づくりの第一歩として関心を持っていきたいと思っています。



かんらの風景11  
四季を彩る

# 天王塚の大クヌギ

## かんら名木10選

■所在地 甘楽町大字福島1277番地1

天王塚古墳の南側墳丘上にそびえ立つ巨木。それが天王塚の大クヌギです。

平成13年にかんら名木10選に認定されました。認定証には『半径10m四方に枝を張り、樹に傷も無く樹勢も盛んである。樹高約25m、胸高周囲3.3m、推定樹齢約350年の巨木』と紹介されています。

晩秋には黄葉し、景色に彩りを添えてくれます。

長年、墳丘の上から町の移り変わりを見守ってきた大クヌギ。

これからも甘楽町の人々の営みを見守り続けてほしいと思います。



### 編集後記

清々しい青空がのぞまれる秋の到来とともに台風の季節でもあります。九州地方では一足早く多くの地区が災害に見舞われました。

思い出されるのは、昨年の台風19号では多くの町民の皆様が避難所への避難経験を持たれたと思います。災害は時と場所を選びません。「もしも」という気持ちを常に持ち、いざという時に慌てずに行動をとりたいものです。

コロナ禍も収束のめどは立っていません。この様な不確かな中、私たち議会は皆さまが毎日を安心、そして健やかに過ごせるよう日々努力してまいります。

山崎澄子 記

### 表紙の説明

10月5日、新屋小学校5年生による稲刈り体験の様子取材させていただきました。

秋晴れの下、収穫の時期を迎えた黄金色の稲を、慣れない鎌を使って一生懸命刈り取りました。子ども達は口々に「うんと疲れた。作業に慣れてくると、次々と刈り取っていく、運ぶ姿はとても頼もしかったです。」

### 議会広報常任委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 山田 邦彦 |
| 副委員長 | 山田 光男 |
| 委員   | 横尾 稔  |
|      | 金田 倍視 |
|      | 黒澤 篤  |
|      | 山崎 澄子 |

皆様のご意見、ご感想をお寄せください。